

一 般 質 問

令和 2 年第 2 回定例会（6 月 11 日）

質 問 者	内 容	答 弁 を 求 め る
<p>高山 豊彦</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症に伴う影響及び対策を問う</p> <p>(1) 特別定額給付金の申請及び給付状況は。</p> <p>(2) 収入の減少等による、納税等の猶予制度及び、その他各課の所管する業務に係る相談の状況は。</p> <p>(3) 災害時避難所の感染症予防対策は。</p> <p>2. グリーンスローモビリティの運行について問う</p> <p>(1) 石寺ルート、中和束ルートそれぞれの運行状況は。</p> <p>(2) グリーンスローモビリティから奈良交通路線バスへの乗り換えによる利用状況は。</p> <p>(3) 地域公共交通として活用する場合の課題は。</p>	<p>町長 総務課長 税住民課長 福祉課長 地域力推進課長 建設事業課長 農村振興課長</p> <p>町長 地域力推進課長 総務課長</p>
<p>岡本 正意</p>	<p>1. 暮らしへの思い切った支援を</p> <p>(1) 水道基本料金の一定期間免除の実施を。</p> <p>(2) 均等割の減免など国民健康保険税の負担軽減を。</p> <p>(3) 大学生、専門学生、高校生への支援を。</p> <p>①町奨学金支給制度の拡充・・・収入基準の引き上げ、専門学生も対象にする。支給額の増額など実施を。</p> <p>②大学生、専門学生等の下宿家賃や生活費、通学費等への支援実施を。</p> <p>③バス定期代の全額補助、鉄道定期代への補助など高校生通学補助制度の拡充、教科書購入費用相当額の支援などの検討、実施を。</p> <p>2. 茶業経営への支援を</p> <p>(1) 昨年の晩霜被害に続く今年の「コロナ危機」とも言える茶業の苦境を町としてどう認識しているか。茶業を基幹産業と位置づけ、景観条例で「生業景観」の維持、継承を位置づける町として、どのような対策を検討し、実施するのか。</p> <p>(2) 国の持続化給付金の対象はどの程度か。対象外の農家への独自支援の検討は。</p> <p>(3) 「固定費」である、肥料や農薬、人件費など茶園管理にかかる経費への直接支援を。</p> <p>(4) 廃業や規模縮小等による荒廃農地、耕作放棄地の拡大を防止する手立ては。</p>	<p>町長 総務課長</p> <p>町長 農村振興課長</p>

3. 検査、医療体制は万全か

- (1) PCR 検査や抗体検査などの実施体制の現状と今後の見通しは。町内の医療機関での実施は可能になるのか。
- (2) 感染者の症状に応じた医療機関や療養施設などの受け入れ体制の現状は。インフルエンザ等の他の感染症の流行期に備えた対策は。

町長
福祉課長